

## 新ふるさと福祉学習推進事業実施計画書

(事業主体者名) 江津市 社会福祉協議会

1 地域の概況	川戸地区は、桜江支所をはじめ桜江小、中学校等桜江町の経済文化の中心地として栄えてきた。江の川と八戸川に囲まれた水害の常襲地であったが昭和47年の大水害を機に「水に強い町づくり」を目指し復興事業が進められ新しい町に生まれ変わった。
2 地域の生活・福祉課題	桜江町の中心地であるが、人口減少核家族化、高齢化の進展により町の空洞化が進み、空き家が増え、独居老人世帯数も除々に多くなり従来のコミュニティ、環境管理、相互扶助を維持し、継続することがだんだん難しくなっている。地区に在住する児童数も減り、児童が外で遊び回る姿もだんだん見られなくなり、子供と地域住民とがふれあう機会がほとんどなくなっている。地域には様々な伝統文化が残っていて地域の人から子供達にそうした伝統文化を伝えることは郷土に愛着を持たせる意味でも大切なことである。住民間の交流を活発にするには、老若男女を問わず住民が集う「場」を設定することが求められる。
3 想定される事業実践者名	川戸公民館
4 展開プログラムの構想	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 公民館交流会 5月5日 公民館体育館 川戸水神祭でバルーンショー開催</li><li>2. ふれあいミニ運動会 10月下旬 公民館体育館 地区ワーカーと共催 地域の高齢者クラブと川戸保育所の園児による交流会</li><li>3. 小学生とのふれあい活動 11月上旬 公民館体育館 川戸支会と共催 地区の小学生とその保護者と支会役員で軽スポーツ、昼食会</li><li>4. 子供神楽 11月下旬 公民館体育館 川戸若連中と共催 小学生の1年から6年までの男女で神楽上演</li><li>5 百人一首大会 1月上旬 公民館 子ども読書会と共催 百人一首の他に「川戸カルタ」を作成してカルタ会</li></ol>

※事業実施計画のための資料等ありましたら、添付してください。